



平成26年12月25日

国土交通省中部地方整備局

名古屋港湾事務所

## 一刻も早いコンテナ船大型化への対応を！

### 「名古屋港入港大型船の航行安全に関する調査研究」

#### 第1回特別専門委員会開催

平成26年12月19日に、名古屋港湾会館において「名古屋港入港大型船の航行安全に関する調査研究」第1回特別専門委員会が開催されました。

大量一括輸送による海上輸送の効率化の観点からコンテナ船の大型化が世界的に急速に進展している中、名古屋港においても船舶の大型化に迅速に対応し機能強化を図ることが必要になっています。

名古屋港東航路（全幅580m）は、現在の水深15mを水深16mに増深する浚渫工事を実施中で、平成28年度に完了する予定ですが、より早期に大型コンテナ船の入港に対応するべく幅420mの浚渫工事を平成27年4月末に完了させ、平成27年秋より同水域を活用して暫定的に水深16mを必要とする大型コンテナ船が名古屋港を利用することについて平成27年3月までを目途に検討することになりました。

#### ○特別専門委員会の実施内容

この特別専門委員会は、学識経験者、海事団体関係者、関係官公庁職員で構成され、幅420mの水域を利用して大型コンテナ船が入出港する際の船舶航行と岸壁への離着岸の際の操船に係る安全性、および他の航行船舶への影響に関する検討などを目的として開催されるもので、第1回委員会では調査研究の事業計画案などが審議されました。

#### ○今後の予定

平成27年1月26日に開催を予定している第2回特別専門委員会では、大型コンテナ船の名古屋港東航路利用に係る検討に使用する「ビジュアル式操船シミュレータ」の実験方法などが審議される予定となっております。

また、3月上旬に開催を予定している第3回特別専門委員会では、ビジュアル式操船シミュレータ実験の結果を踏まえた大型コンテナ船の幅420m水域の利用に係る安全性の検討結果、および安全対策案が審議される予定となっております。



## 写真



第1回特別専門委員会の様子

- 配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス

- 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 工務課 村上

Tel 052-651-6741 Fax 052-652-0303